組織現況 2018年5月31日現在

組合員数
26,956 人

出資金総額
97,039万円

一人当たりの出資額
35,999 円

虹のまち とやま医療生協

2018年7月号　No.423

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月１回発行
定価 １部30円（組合員の購読料は出資金に含まれています）
発行　富山医療生活協同組合

夏バテとフレイルを予防して

夏を元気に乗りきろう！

夏は暑さでそうめんだけで食事を済ますなど、炭水化物にかたよった食事になりやすく、栄養バランスが崩れてしまいます。栄養が不充分だと、夏バテだけでなく、フレイル（虚弱）に陥ってしまう危険があります。夏バテを予防して、毎日をイキイキ過ごすためのポイントを紹介します。

ポイント　基本はバランスのよい食事を

たんぱく質・ビタミン・ミネラルをバランスよくとりましょう。主食+主菜+副菜で、1日三食きちんと食べましょう。特に、ビタミンB群はエネルギー代謝や疲労回復にもおすすめです。

ビタミンBを含むおすすめ食材

うなぎ

かつお、まぐろ

豚肉

その他、レバー、にんにく、ねぎなど

また、旬の夏野菜はカロテン、ビタミン、食物繊維、カリウムなどのミネラルも多くとてもおすすめです。

なす

とまと

夏野菜カレーで食欲増進

ポイント　水分補給はこまめに

水分補給は一日にコップ５～６杯が目安です。のどの渇きを感じていなくても、脱水予防のためにこまめに水やお茶を飲むように心がけましょう。

水分補給で注意！

水分補給には水、麦茶が適しています。ジュース類は糖分を多く含むため水分補給には不向きです。

ポイント　食欲がないときは果物を

すいか

プリン

アイス、シャーベット、かき氷、果物、ゼリーなど

一日につき体に必要な水分は、2.5リットルといわれ、その約半分は食べ物の水分と食べ物が代謝されることで生まれる「代謝水」から入ってくるといいます。欠食するとその分、脱水症や熱中症の危険が高まります。まったく食欲がないときは、果物をおやつとしてエネルギーや水分補給に役立てましょう。

ポイント　適度な運動も忘れずに

筋肉保持のために、食事に加えて毎日適度な運動も必要です。シルバーリハビリ体操など、体調と相談して無理なく行ってください。「虹の健康チャレンジャー」に取り組むのもいいですね。

核兵器廃絶の願いを込めて
～原水爆禁止国民平和大行進～

六月七日～六月十六日にかけて、県内各地での国民平和大行進に多くの地域の方が参加されました。

核兵器廃絶の願いをアピールしながら行進し、また各地で核兵器廃絶国際署名（以下、ヒバクシャ国際署名）も集めました。

そして今年も、昨年に引き続き、富山医療生協ではヒバクシャ国際署名を集めます。

この署名は二〇二〇年までに世界中で数億筆を目指しており、国連総会へ毎年届けられます。昨年、核兵器禁止条約が採択されましたが、核兵器禁止条約の発効には、国連加盟国の五十ヶ国の批准が必要です。条約によって核兵器廃絶を実現するためには、核保有国の参加が不可欠です。

世界中で核兵器廃絶の世論を高めるためにも、ヒバクシャ国際署名をさらに広げましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

第24回富山医療生協
平和納涼まつり

日時　**7月21日（土）**
午後５時～７時30分

小雨開催

場所　在宅福祉総合センター「ひまわり」駐車場

各種模擬店・ステージ企画あり！

主催：富山医療生協平和納涼まつり実行委員会 TEL（076）441-8351

内視鏡

フレイルや認知症の予防のためには人と人との交わりやつながりが大切と強調されている。笑顔で長寿のまちづくりの土台ともいえるのでしょうか▼「万引き家族」がカンヌ国際映画祭で受賞され話題を呼んでいるが、少ない年金が毎年削り続けられていることに全国で五千人余の年金受給者が「年金引き下げ違憲訴訟」を闘っている。弁護団から「自分の暮らしの実態を調べ、それを法廷に」との提起があった▼私の厚生年金、日々の暮らしだけなら何とかやれるのだが、冷蔵庫が壊れた、車の買い替えが必要だ、など臨時的で突発的なことに備えての余裕などは全くない。退職金の底が見えてくる▼さらに悩ませるのが親戚、友人、近所へのご香典。お互い様の習慣で不義理はできない。また孫たちへの祝いや趣味や同好会の付き合い等、「人と人の交わり」にかかわる費用がかなり目につく。外出せず、趣味や娯楽を削り、閉じこもりが押しつけられる年金にならないのか▼医療生協の協同の力でとじこもりやひとりぼっちの高齢者を生まないよう、楽しい班会や行事を計画し、健康づくりも進め、病気が心配、認知症が心配と言う高齢者も、笑顔で暮らせるまちづくりに役立ちたい。（H）

第六十五回通常総代会

医療生協の総合力を発揮し、協同の力でいのちとくらしを支える事業と運動を創り上げよう！

第六十五回通常総代会が六月二十三日（土）、富山県中小企業研修センターにおいて、総代、来賓、オブザーバー、役職員合わせて二百三十八名が参加して開催され、全議案が満場一致で採択されました。

総代会では、医療介護や住宅など事業の複合的な展開と連携の強化、地域の助け合い活動によって、くらしを支える取り組みが総合的に前進してきたと報告されました。そして、この活動に確信をもって、協立病院の建替え事業を組合員の創意と総力で成功させようと呼び掛けられました。（十二月に臨時総代会予定）

全体討論では九名の発言がありました。その内三名の方の発言を紹介します。

三〇〇〇万署名の取り組み

吉田　とみ子総代（となみ野支部）

昨年十二月、九条改憲NO三〇〇〇万筆署名をとなみ野支部は五〇〇筆を目標として取り組みました。目標をたてたが、達成できるのか。とにかく行動をということで、自宅の玄関に署名を置き、お客さん、宅配の方、お寺さん、コープとやまの班の方、各会合に出席し、代表者の方などに署名をお願いしました。

その中で「改憲は必要だが戦争につながるのはいや」と署名される方もおられれば、「九条のことを知らない」という方もおられて驚きました。

署名の取り組みだけでなく、砺波市民アクションにも支部として加わり、スタンディングを行ったり、水谷敏彦弁護士を招いて支部で憲法学習会を行ったりもしました。

次々に法が改悪され水面下では改憲のするための準備が着々とすすんでいることを、一人でも多くの人に知ってもらうことが平和を守るために必要なことだと思い、この署名活動に取り組みました。

「オリーブの会」の取り組みについて

平野　登志子理事（大広田支部）

「オリーブの会」は、医療生協らしい、日常的な共同の取り組みを職員と一緒に何かできないか、という思いから、二〇一一年十一月に発足し、月に一度、病院のシーツ交換のボランティアを行っています。最初は不慣れでしたが、今では患者さんも待っていたかのようにベッドをあけてくれたりします。助かりますという職員の言葉にも元気をもらっています。

地域や支部で活動するのは比較的元気な組合員が多く、病院、ましてや病棟に足を踏み入れることは滅多にありません。そんな元気な組合員にも、ボランティアを通じて協立病院を身近に感じてもらい、地域と病院の橋渡しの役目もしてほしいと考えています。

また、ボランティア同士のコミュニケーションの場でもとりながら、みんなで楽しみながらやっていますボランティアができる元気な自分が幸せだと感じながら、この「オリーブの会」を続けていきます。

きずなリニューアルについて

染谷　明子施設長（在宅福祉総合センター　きずな）

四月より富山市全体で総合事業が始まりましたが、介護報酬改正もあり、軽度の方の受け入れ先が非常に少ないという現状があります。

軽度の方にとって介護予防はとても重要なことであり、軽度でも生活支援が必要な方の受け入れ先として、きずなデイサービスは七月より要介護一～二、要支援一～二の方にむけたサービスを開始します。

内容としては人気の笑いヨガやシルバーリハビリ体操をしたり、バイキング形式の食事を提供したり、買い物やお茶会等、利用者の方が自分らしく楽しく一日を過ごせるような内容を考えています。シルバーリハビリ体操では、指導士の資格を取得した組合員さんにも活躍していただく予定です。

また水曜日は地域の方へきずなを開放してイベントを開催することも企画しています。

「きずなできずなづくりをしましょう」という組合員さんの言葉がありました。手と手を繋いで、いろんな方が集まってくれる場所にしていきたいです。

第65回通常総代会　班・組合員表彰

班表彰

（①班長がいる　②年6回以上開催（うち3回は健康チェック）　③計画表が出ている）

大広田支部　さわやか会班

岩瀬	気楽	十五回
岩瀬	ふれあい軽スポーツ	十三回
浜黒崎	アネモネ	十四回
浜黒崎	日々草	九回
萩浦	もりもり	十回
萩浦	蓮町A	十回
大広田	ぎんもくせい（銀嶺町）	七回
大広田	シーサイド	十四回
大広田	さわやか会	六回
とよた東	さつき	二十五回
とよた東	米田班（田中）	八回
とよた東	なでしこ	十一回
とよた北	水落	九回
とよた北	豊島ひまわり	十二回
とよた北	城川原	十回
とよた北	青空まったりカフェ	十三回
とよた北	さくら	二十三回
とよた北	犬島三丁目・ゆり	六回
とよた北	四季の会	九回
とよた北	コスモス	十二回
とよた北	湯楽班	六回
とよた北	犬島・大村	十四回
とよた北	黄色牡丹	八回
とよた中央	豊城町	十三回
とよた中央	ピンポン	四十八回
とよた南	なのはな	六回
とよた南	手芸サークル野菊	十七回
とよた南	豊田本町三・四丁目	十回
奥田	薔薇	十五回
奥田	奥田よつば	三十六回
奥田北	下新北町・長谷川	十二回
奥田東	粟島	十二回
奥田東	松若町	十回
広田	シャボン玉	十一回
広田	安澄美	十二回
広田	ほほえみ	十四回
広田	コスモスの会	二十回
新庄北	かたくりの会	二十七回
新庄北	上飯野新町映画	九回
新庄北	二〇〇円ランチの会	十一回
新庄北	トキメキ	十三回
新庄北	脳いきいき民謡談話室	十二回
新庄北	入浴会	二十二回
新庄北	折り紙入浴班	十二回
新庄北	星のサークル	九回
新庄北	かがやき班	二十一回
新庄	オカリナハーモニカ	二十六回
新庄	ボーリング	二十三回
針原	道正	八回
藤ノ木	藤の木台	十一回
藤ノ木	平和活動	六回
藤ノ木	藤ノ木緑台	十一回
中央西	ひなげし	七回
南部	めぐみ	十三回
堺南太田	中屋班	七回
山室	絵手紙ひばり	十回
山室	月曜会	二十回
山室	マシーン班	三十三回
山室	青葉団地	十回
山室	カトレア	十三回
桜谷	石坂	十二回
桜谷	五艘・栗林	四回
五福・神明	井田川②	十回
五福・神明	四区・ベジタブル	十二回
五福・神明	いきいきサークル	五十二回
呉羽	高木	十二回
呉羽	北代	十回
和合八重津	四方南町	十回
和合八重津	四方荒屋	六回
和合ローズ	さつき	四十八回
和合ローズ	布目東町	五十七回
和合ローズ	杏子	十八回
和合ローズ	布目旭町	九回
高岡	三ヶ	十回
高岡	伏木	八回
高岡	古府	七回
高岡	歩らりー	九回
高岡	すまいる	七回
高岡	佐野	十二回
高岡	高美町	十一回
高岡	牧野	十回
となみ野	かのこ	六回
となみ野	万年青	九回
となみ野	井波健康サロン	六回
水橋	高志園町・友梢	七回
水橋	高志園町・貫和	二十一回
水橋	高志園町・荻野	二十五回
水橋西部	さわやかフィットネス	六回
水橋西部	立山町	八回
水橋西部	平成町	二十四回
三郷	水橋中新町	十四回
上市	経田	八回
上市	柳町	十二回
上市	自然房	六回
滑川	ふれあいカフェ	九回
やくし	あすなろ	二十四回
やくし	あじさい	二十三回

以上九十七班

個人表彰

（年間拡大5名以上拡大された方、順不同・敬称略）

村井和恵さん　南部支部

岩瀬	水上　雅美	五名
浜黒崎	水島　文則	五名
萩浦	水野　隆之	六名
とよた北	舟崎　芳子	六名
奥田	田中　裕子	八名
奥田	稲垣由佳子	八名
新庄	飯野　義直	五名
広田	米田江美子	五名
藤ノ木	白橋　裕暢	七名
とよた南	高見　町子	八名
大広田	朝野恵美子	五名
とよた東	山崎　久子	六名
とよた中央	鈴枝	六名
市田	照子	五名
奥田東	太田　信子	六・五名
新庄北	才藤　抱一	十六名
南部	村井　和恵	十一名
富南	石黒　孝子	五・五名
山室	水岡　道子	五名
桜谷	佐丸　幸江	六名
五福・神明	宮越　政子	七名
高岡	義基みゑ子	八名
高岡	尾間　茂	十三名
となみ野	吉田とみ子	十三名
水橋	尾島　富嶽	十六名
水橋	友椙　彰	十・六名
水橋西部	栂野　文子	五・五名
上市	山崎美保子	十一名

（理事を除く二十五名が表彰されました）

第 65 回 通常総代会 決定

2017年度 活動のまとめ

2018年 6月23日（土）

● はじめに ●

相次ぐ社会保障制度の後退のなかで、2017年度は利用者にも事業者にも大変厳しい年となりました。私たちは、住民本位の「地域包括ケア」の実現をめざして、医療介護福祉事業の強化とともに、地域での助け合いのまちづくりや健康づくりを進め、医療生協の総合的な役割が発揮できるように取り組みました。また、署名運動の広がりは、“健康と平和”を理念とする医療生協への共感を広げる貴重な取り組みともなりました。

2017年度のスローガン　協同の力で、いのちとくらしを支える事業と運動を創り上げよう！

3つのつくろうチャレンジを進めながら「医療福祉生協の地域包括ケア」を実現しよう

1 いのちとくらしを支える事業基盤をつくりあげます

○医療事業では、医師体制を変更しながら療養病棟をはじめとした入院医療の改善強化や、地域連携を強めながら在宅医療や透析の強化を図り、増収増益となりました。
○介護事業では、中重度・認知症への対応を強化するとともに、在宅での看取りや生活支援のリハビリ機能など切れ目のない医療介護サービスをめざし、看護小規模多機能型居宅介護の本格運用や住宅型有料老人ホームの開設に取り組みました。訪問看護や居宅事業では利用増となり、有料老人ホームも短期間で満室となりましたが、介護事業全体としては、減収減益に留まりました。
○介護保険から外される要支援者が介護保険施設を利用できない事態が発生しています。富山でも受け皿となる総合事業は低単価や担い手不足のため進展していませんが、医療生協でも、総合事業の検討を開始しました。
○患者・利用者を組合員・地位住民とともにくらしの中で支えるために、退院時カンファレンスに組織部からも参加する取り組みを開始しました。
○経済的に困難を抱えた人たちの相談活動と生活支援に取り組み、「無料・低額診療事業」には10人（実人数）の利用がありました。
○個別送迎は、延べ 5,811 人（前年比 9.7％増）が利用されました。
○2015 年版更新審査で ISO 認証が更新されました。利用者満足度向上にむけて、利用委員会やボランティア活動など組合員のさらなる参画も求められています。
○後継者育成（奨学生）では、新たに医学生 3 人、薬学生 2 人、看学生 6 人が誕生しました。

2 「医療福祉生協の地域包括ケア」に対応した、豊かな支部活動・事業活動を展開します。

地域まるごと健康づくり

○健康チャレンジャーは、4 自治体で後援を受け、1,003 人が登録し 354 人が達成しました。キッズチャレンジは、「あいうべ体操」の評判も良く、富山市、高岡市、立山町の小学校（6 校）や学童クラブ（1ヶ所）、保育園と幼稚園（8 ヶ所）へ申し入れ、824 人が取り組みました。世界保健デーや禁煙デー、バレンタイン行動でも健康チェックに取り組み、ブロック毎のウォークイベントは、天候不順でしたが、3 ブロックで 140 人が参加しました。
○地域の保健力・介護力を高めるために、北ブロックでは保健係り養成講座を開催（22 人が 誕 生）し、他 4 ブロックでも保健教室（138 人）で医療生協の健康習慣等を学びました。
○健康づくり委員会は、今年も富山市保健所と健診や健康づくり活動について懇談を行い、自治体健診の改善などを申し入れました。また富山市福祉保健部から「ネンリンピック」への健康チェック参加を要請されました。
○「すこしお生活」の普及・実践では、尿塩分チェックの班会や事業所祭りでの塩分味覚チェック、減塩調理の工夫と、減塩スプレーや塩分計の普及に取り組みました。医福連の「すこしおモニター」に 51 人が取り組み、40 人が終了されました。
○地域に健康づくりを広げる「まちかど健康チェック」は、17 支部 68 回で実施され、健康チェック総数は班会を含め延べ18,930 回になりました。
○健康班会は、認知症予防の「脳いきいき班会」は43 班で開催され、「フレイル（高齢者虚弱）予防」の学習や握力測定をする班会（3,940 人）も広がりました。
○全世代を対象に 350 人をめざした大腸がん検診は 104 人に留まりました。

支え合いのまちづくり

○居場所づくりは、住民へも呼びかけ、自宅や公民館、空き家を活用しながら少しずつ広がり、事業所でのオレンジカフェ（認知症カフェ）も定着しました。
○「たすっけとクラブ」は、6 ヶ所で説明会を開催（109 人参加）しました。地域包括支援センターからの依頼も増え、活動回数は延べ 2,324 回（前年比 1.2 倍）になりました。コーディネーターは 38 支部 40 人、協力者は 370 人、利用者実績は 470 人、「たすけっと」を通じての生協加入も 50 人になりました。コープリフォームとの連携も進み、コープとやまの組合員への「たすけっと」の利用と担い手の呼びかけが始まりました。
○「助け合い活動交流集会」や「地域協同推進シンポジウム」の積み重ねを通じて、生協間協同での企画実施へ期待が高まっています。
○コープとやまが主体となった県生協連「地域での見守り活動推進実行委員会（特殊詐欺被害防止）」に、まちづくり委員会として参加しました。
○医療生協と自治体との見守り協定は、1 自治体（射水市）に留まっています。
○富山市と懇談会を実施して、地域の要望を伝えました。また、富山市では、生協としての自治体公民館利用が認められるようになりました。

介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）へのチャレンジ

○2018 年度より「きずな」で総合事業を開始できるように取り組みました。

3 医療生協への加入は「安心のネットワーク」と言える質・量をつくります。

○仲間増やしは、1,150 人（純増 246 人）で、27,000 人を超える生協となりました。全国の医療福祉生協連でも初めて 300 万人組合員を達成しました。
○増資は、「増資申込封筒」の普及もあり、増資協力者が 3,806 人（前年比増 124 人）となり、純増は 1,670 万円でした。
○担い手づくりでは、配付協力者が 50 人増え、1,467 人 1,789 コースとなりました。

4 「いのちの章典」を実践する人づくりをすすめます

○憲法 9 条改悪を許さない 3000 万人署名推進にむけ、事業所や支部・班で多彩な学習活動に取り組みました。富南・堀川南・南部支部では合同で「平和を考える集い」を開催しました。
○通信教育を 211 人が受講しましたが、修了は 170 人に留まりました。
○医福連の教育月間（6～7 月）や「いのちの章典」実践ガイドラインの計画的な取り組みはできませんでした。

5 憲法が活きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯します。

○核兵器廃絶をめざすヒバクシャ国際署名 8,201 筆、憲法 9 条改悪反対署名 12,244 筆は、昨年の安全保障法（戦争法）を上回る取り組みとなりました。目標にこだわる事や粘り強い学習、署名を呼び掛ける人を幅広く組織することは、生協運動にとっても教訓となりました。
○介護保険をテーマにしたくらしの学校は切実な課題で関心も高く 115 人が参加しました。
○原水禁世界大会、日本母親大会への代表派遣、平和行進（約 200 人）に取組みました。環境問題では、県生協連主催海岸クリーン作戦に 13 人が参加しました。
○福島親子保養プロジェクト（8 家族 23 人受入）や物販による募金（5 万円送金）など東日本大震災支援に継続的に取り組みました。緊急にお願いした福島第 2 原子力発電廃炉署名も 301 筆が寄せられました。

●組織＆その他の課題到達（2017 年度）

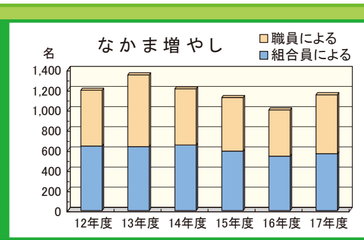
課　題	実績	目標	前年
仲間ふやし（人）	1,150	1,300	1,000
出資金（万円）	6,311	15,000	6,523
増資実人数	4,009	5,000	3,682
班会開催数	1,771	1,800	1,779
班会開催班	215	287	211
健康チャレンジャー登録	1,003	1,500	923
通信教育受講	211	300	211

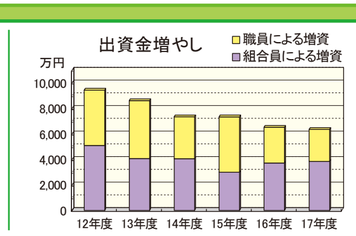
課　題	実績	目標	前年
新班づくり（含再開）	30	76	28
支部設立・分割	0	2	0
運営委員・サポーター	363	380	353
班会参加者数	13,697		12,332
新規配付コース	50	100	34
健康チェック数	18,930	18,000	17,028

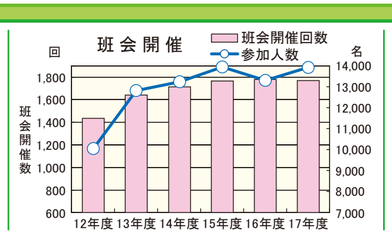
2017年度 富山医療生協のあゆみ

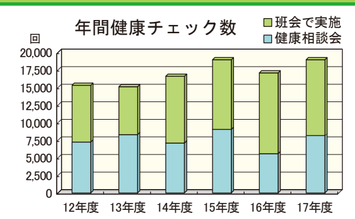
4月	7–8:WHO世界保健デー (チンドンコンクール会場にて健康相談会725人)
5月	12:地区別総代会議(4会場・154名) 26:新入職員歓迎会 31:WHO世界禁煙デー(117人チェック)
6月	28–29:パークゴルフ予選会(151名) 25:第64回通常総代会(富山県農協会館249名)
7月	22:平和納涼まつり(500人)
8月	6–7:医福連中部ブロック組合員活動交流集会(98名)
9月	24–25:民医連東海北陸共同組織活動交流集会(9名)
10月	WHOウォーキング(3会場・140人) 15:水橋健康まつり(220人) 22:富山診療所健康まつり(180人) 29:協立病院まつり(300人)
11月	ブロック健康教室(4会場・119名) 21:保健講座(北A担当・22名)
12月	1:在宅型有料老人ホームひまわり開設 たすけっとクラブ説明会(5会場90人)
1月	20:くらしの学校(115名)
2月	虹のバレンタイン行動(19か所)
3月	3:組合員のつどい(91名)

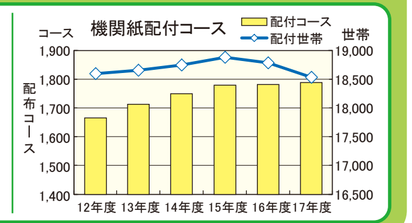
2017年度の活動状況











2018年7月　　とやま医療生協　虹のまち　　富山医療生活協同組合機関紙　第423号　（4）

医療福祉生協連

2018年度の活動のすすめ方

スローガン

医療生協の総合力を発揮し、協同の力で いのちとくらしを支える事業と運動を創り上げよう！

私たちを取り巻く情勢の特徴

①社会保障をめぐる課題

社会保障のあらゆる分野で給付の制限と国民の負担が増しています。また、政府がめざす「我が事・丸ごと」地域共生社会は、公的責任を曖昧にしながら住民の自己責任を一層強調しています。社会保障の充実に向け、地域住民とともに行政としっかりとした関わりを持つ事が重要です。

②くらしをめぐる課題

アベノミクスの経済効果は大企業に留まる一方で、実質賃金は低下しています。高齢者だけでなく、働く世代や子どもの貧困問題まで全世代への対応が求められています。2019年10月には消費増税も予定されるなど、くらしと事業環境は一層厳しさを増しています。

③安全保障、平和、民主主義の課題

「安全保障関連法」の成立後、立憲主義を否定する憲法改悪の動きや沖縄新基地建設など平和の危機が強まっています。しかし、核兵器廃絶のヒバクシャ国際署名や憲法9条改悪反対署名など、平和を希求する国民運動も着実に前進しています。

※世界中で、富の一極集中と貧困の拡大が深刻になっています。「無形文化遺産」登録や「持続可能な開発目標」など、国連でも協同組合の役割と積極的な関わりが大変注目されています。

《重点課題》

- 住民本位の「医療生協の地域包括ケア」を実現させます。
- 憲法を守り活かし、平和で人権が尊重される社会をめざします。
- 《特別課題》病院機能の見直しと建替えを職員と組合員の総意で取り組みます。

1 いのちとくらしを支える事業基盤づくりと持続可能な経営をめざします。

①「医療生協の地域包括ケア」をめざし事業の質の向上と連携を強化します。

- かかりつけ医機能など地域から求められる医療介護要求に応えます。
- 中重度・認知症・在宅での看取り・生活支援のリハビリなど、くらしに応じた切れ目のない医療介護サービスの強化に努めます。
- 最後まで尊厳ある生き方ができるように、多職種で患者利用者との意思の共有を継続的にはかります。高齢者の意思決定支援や ACP、ライフデザインノートの活用を組合員とともに進めます。
- 医療介護連携を強化すると共に、介護保険が利用できない要支援者向けの総合事業や一般介護予防事業を推進します。
- 無料・低額診療事業など、経済的社会的に困難を抱えた人達への相談と支援を広げます。
- 組合員の健康づくりと利用促進を図りながら経営改善を進め、必要利益を確保して持続的に安定した経営を築きます。事業所独立会計や部門別損益計算に取り組みます。

②地域活動（健康づくり、まちづくり）との関わりを強化します。

- くらしを支える事業所の機能と役割を明らかにし、医療生協の総合力（保健・医療・介護・福祉の複合的な事業とネットワーク、専門家と組合員の協同、地域の住民団体としての役割）を発揮します。
- 組合員の事業利用と運営参加（協同）を強め、医療介護従事者の確保と育成に努めます。

③協同組合や行政などとの協力協同をすすめます。

- 購買生協や大学生協との事業連携や職員紹介などを共に進めます。
- 「地域包括支援センター」や社協、行政（総合事業支援）との連携を強化します。

2 くらしの中のあらゆる場面で、医療生協を起動させ、「組合員は、安心のネットワーク」と言える、質と量をつくり出します。

「3つのつくろうチャレンジ（つながりマップ、居場所、支部）」を活用します。

①健康づくりを通してくらしとまちづくりを進めます

ⅰ）地域まるごと健康づくり

- 健康チャレンジは、組合員の健康づくりとともに、地域や学校（教育委員会）への働きかけを含め、幅広い世代に 1,500 名を目標に、６月から開始します。
- 地域での保健力・介護力を高める各種講座や交流を推進します。
- 事業所とも連携して、「すこしお生活」「フレイル予防」の普及・実践をすすめます。「あいうべ体操」にこだわりオーラルフレイル予防の普及にも努めます。
- 全ての班で「お試し班会」「お誘い班会」を開催します。
- 「医療福祉生協の班会に参加する組合員の健康度調査」に参加し、医療生協の健康づくりを検証し、班活動の推進をはかります。

ⅱ）支え合いのまちづくり

- 頼りになる身近な住民組織として医療生協の総合力を活かし、「わたしと地域の困った事」や「課題」の具体的な解決に繋げます。つながりマップの活用を進めます。
- 行政や諸団体と共に、見守り協定や子育て支援など多世代の課題解決に取り組みます。
- 事業所や公民館なども活用して、全支部で身近な「居場所づくり」を進めます。（居場所：誰でも参加できる、周知されている、定期的に開かれている）

②誰もが活躍できる医療生協の出番づくりと組織拡大を進めます

- 生活圏域での支部づくり・分割を進め、地域の特徴を活かしてブロック活動を強化します。
- 運営委員や配付係、たすけっと協力者や保健係、事業所ボランティアなど、組合員が活躍できる機会と場所を積極的につくり、３万人組合員の生協をめざします。
- 支部班の役割や活動を見直し、班活動の広がりをめざします。また、地域のコーディネートの役割が発揮できるように、事業所や組織部の役割・活動の在り方について引き続き検討を進めます。
- 事業と運動を支えるにふさわしい増資目標（金額・件数）を掲げて取り組みます。４課題目標～仲間増やし 1,300 人、増資 15,000 万円、班会開催 1,800 回、担い手（通信教育 300 人、配付係り 100 人）

③住民を対象とした取り組みや地域社会へ関与を強めます

- 自治体や諸団体に事業と運動を知らせ（見せる化）、医療生協の存在感や認知度を高めます。
- 「地域包括支援センター」との懇談を継続し、協力協同で課題解決にむけて取組みます。
- 自治体や保健行政とも協力して BCP（事業継続計画）や大規模災害支援に取り組みます。

3 地域・職員組合員が「ともに学び・育ち合う」人づくりを進めます。

①「いのちの章典」を実践し、実践ガイドラインによる業務の評価見直しを行います。

②「医療福祉生協のひとづくり」をもとに、地域の課題を地域と職員組合員が協同して解決できるように学習や取り組みの機会を増やします。

③ホームページ、機関紙「虹のまち」、事業所ニュース、虹のネットワーク、コムコムのさらなる有効活用を図ります。

④奨学生と、組合員・職員との交流を進め、医療生協・民医連への共感を広げます。

4 憲法が活きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯します。

①憲法９条改悪に反対し、平和で人権が尊重される日本国憲法を守る取り組みを強化します。核兵器廃絶をめざして、ヒバクシャ国際署名の賛同をさらに広げます。

②社会保障の後退をやめさせ、一層の充実を求めます。

③震災被害を風化させず生活復興支援を継続するとともに、原発ゼロをめざして原発依存のエネルギー政策の転換を求めます。

④沖縄・辺野古基地の移設など、基地拡張強化に反対し、民意に沿った政策を求め、連帯を続けます。

⑤国連が定めた「誰ひとり取り残さず、笑顔で暮らすことのできる持続可能な社会」の実現にむけて、協同組合として「SDGs（持続可能な開発目標）」の取組みに参加します。

5 《特別課題》中期計画づくりと、当面の事業計画を成功させます。

安心して暮らし続けることができるまちづくりを進める医療生協の将来像を描きます。

①センター病院である協立病院の機能の見直しと建替えを、組合員・職員の総意ですすめ、臨時総代会での事業計画と特別増資運動の決定をめざします。

②介護・福祉分野（住宅、食事、送迎など）での事業展開をさらにめざします。

■総代会後の主な組合員活動内容

7月	21：平和納涼まつり　29：富山県母親大会
8月	原水禁世界大会　25−26：日本母親大会（高知）
9月	9−10：全日本民医連共同組織活動交流集会（神奈川）　22：富山県高齢者大会
10月	WHO世界と歩こうウォーキング　水橋健康まつり　富山診療所健康まつり
11月	ブロック健康教室（4会場）　協立病院まつり　保健講座（北B）　25−26：日本高齢者大会
1月	くらしの学校
2月	虹のバレンタイン行動
3月	2：組合員のつどい

虹の出会い月間

貸　借　対　照　表

2018年３月31日現在（単位：円）

資産の部	期末残高	負債及び資本の部	期末残高
Ⅰ．流動資産	1,124,680,548	Ⅲ．流動負債	508,319,626
現金・預金	513,289,412	短期借入金	130,000,000
医療未収金	559,588,257	長期借入１年以内償還	91,265,000
貸倒引当金△	3,700,000	短期リース債務	18,816,840
棚卸資産	15,022,141	買掛金	90,293,386
仮払金	884,376	未払費用	6,177
未収金	4,159,177	預り金	13,275,194
前払費用	13,569,432	出資預り金	4,410,615
立替金	75,172	賞与引当金	73,977,648
繰延税金資産	21,792,581	未払消費税	2,485,600
仮払消費税	0	未払法人税等	24,025,987
Ⅱ．固定資産	2,208,704,968	未払い金	59,763,179
(1) 有形固定資産	1,591,566,325	Ⅳ．固定負債	1,280,153,754
１．建物	2,053,714,753	長期借入金	163,777,000
減価償却累計額△	1,253,408,348	組合債	1,000,000
２．建物付属設備	1,627,651,209	組合債預り金	1,260,000
減価償却累計額△	1,489,658,843	退職給付引当金	1,096,689,869
３．建物造作	0	役員退職慰労引当金	14,000,000
減価償却累計額△	0	リース負債	3,426,885
４．構築物	197,681,927	負債合計	1,788,473,380
減価償却累計額△	174,894,041		
５．医療機械	818,678,097	Ⅴ．出資金	967,016,000
減価償却累計額△	742,658,860	組合員出資金	967,016,000
６．器具備品	306,574,857		
減価償却累計額△	288,772,658	Ⅵ．剰余金	577,896,136
７．リース資産	139,003,200	(1) 法定積立金	136,950,000
減価償却累計額△	117,818,700	法定準備金	136,950,000
８．土地	515,473,732		
９．建設仮勘定	0	(2) 医療福祉等積立金	392,000,000
(2) 無形固定資産	14,705,191	医療福祉等積立金	392,000,000
借地権	9,710,428		
水道加入権	58,104	(3) 任意積立金	37,000,000
水利権	190,525	別途積立金	0
パソコンソフト	4,746,134	生協会館建設準備金	37,000,000
(3) その他固定資産	602,433,452		
関係団体出資金	6,615,000	(4) 当期末処分剰余金	11,946,136
敷金	11,140,731	前期繰越剰余金	323,928
差入保証金	37,000	当期剰余金	11,622,208
奨学金	38,273,000		
保険積立金	236,050,734	資本合計	1,544,912,136
長期前払消費税	4,877,264		
長期繰延税金資産	305,439,723		
資産合計	3,333,385,516	負債及び資本合計	3,333,385,516

監　査　報　告　書

私たち監事は、2017年4月1日から2018年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1.監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通・情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事・職員等と意思統一を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めました。理事会その他重要な会議に出席し、また、日常監査を継続し、担当監事により年間を通じてさまざまな部署等の監査を行いました。特に、上半期監査において、リスク管理に焦点をあて、リスク管理にかかるさまざまな諸課題を検討しました。リスク管理状況の記録等を閲覧し、関係職員等から実態を聴取し、上半期監査報告書において詳細な改善方向等を指摘しました。一部改善が進みましたが、未だ端緒についたところです。さらに、監事会を３か月毎に開催し、前期から持ち越された医療未収金の管理改善等を検討し、改善を促しました。

このほか、重要な決裁書類等を閲覧し、本部等において業務及び財産の状況を調査いたしました。このような方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿並びにこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2.監査の結果

（１）事業報告書等の監査結果

①　事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）決算関係書類（剰余金処分案を除く）及び附属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及び附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（３）剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

3.監事所見

日常監査の継続によって、当組合の業務執行が法令等に従い実行されているかどうか、これまで以上に確認し改善を促しましたが、未だ途上にあり、一層の取り組みを要請いたします。

2018年5月23日　　富山医療生活協同組合　　監事　藤田　康雄　　中田　幸子　　古沢　恭子

2017年度決算報告

《損益計算書》

自2017年４月１日～至2018年３月31日　（単位：円）

《事業収入》	3,514,830,406
医療収入	2,574,706,309
外来収入	1,027,730,643
入院収入	1,375,290,001
訪問看護	55,288,328
健診収入	121,303,615
無低診生協負担△	150,390
保険査定等△	4,755,888
介護収入	925,056,686
訪問看護	86,876,479
通所介護・リハビリ	451,671,090
訪問介護	90,930,518
訪問リハビリ	12,722,421
短期入所介護	48,364,682
看護小規模多機能	55,031,409
居宅支援	120,344,438
療養指導他	26,731,454
地域包括支援センター	26,311,717
有料老人ホーム	6,548,395
保険査定等△	475,917
福祉収入	11,639,923
保育補助金	3,699,156
保育料	5,200,680
その他	2,740,087
福祉付帯事業	3,427,488
《事業費用》	3,464,338,827
医療材料費	273,250,812
医薬品費	121,773,508
治療材料費	142,662,969
給食材料費	8,814,335
一般管理費	3,191,088,015
人件費	2,459,662,162
委託費	249,104,751
物件費	315,923,145
リース料	45,859,145
減価償却費	120,538,812
《事業剰余金》	50,491,579
【事業外収入】	27,060,253
受取利息他	101,191
補助金収入	300,000
貸倒引当金戻入	3,700,000
雑収入	22,959,062
【事業外費用】	74,924,825
支払利息	2,226,925
組合債利息	28,240
雑損消費税	64,368,914
長期前払消費税償却額	2,866,803
貸倒引当金繰入	3,700,000
雑損失	1,733,943
《経常剰余金》	2,627,007
【特別利益】	20,000,000
その他	20,000,000
【特別損失】	6,086,669
固定資産除却損	812,464
貸倒損失	5,274,205
《税引前剰余金》	16,540,338
【法人税等】	24,020,000
【法人税等調整額】	19,101,870
《当期剰余金》	11,622,208
【前期繰越剰余金】	323,928
《当期未処分剰余金》	11,946,136

《剰余金処分》

（単位：円）

Ⅰ．当期未処分剰余金		11,946,136
Ⅱ．当期剰余金処分額		
１．法定準備金	11,300,000	
２．医療福祉等事業積立金	0	
合計	11,300,000	
Ⅲ．次期繰越剰余金		646,136

注　記　１．次期繰越剰余金は、教育事業等繰越金です。
２．法定準備金は赤字になった時に備えるものであり、教育事業等繰越金は教育事業の費用にあてられるものです。生協法及び定款では、出資総額の2分の1に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の10分の1以上を法定準備金として積み立て、20分の1以上を教育事業等繰越金として繰り越さなければならないことを定めています。

《2018年度　予算》

自2018年４月１日至2019年３月31日　（単位：千円）

Ⅰ．事業収入		3,657,381
医療事業収入	2,714,775	
介護事業収入	927,806	
福祉事業収入	11,800	
福祉付帯事業収入	3,000	
Ⅱ．事業費用		3,570,790
医療材料費	323,550	
一般管理費	3,247,240	
事業剰余金		86,591
Ⅲ．事業外収入		25,000
Ⅳ．事業外費用		71,580
経常剰余金		40,011
Ⅴ．特別利益		0
Ⅵ．特別損失		6,000
税引前剰余金		34,011
法人税等　△		24,000
法人税等調整額		20,000
当期剰余金		30,011

＊役員報酬は、総額42,440千円を限度として人件費に計上しています。

クロスワードパズル五月号の解答ハガキより

非核化の世界が来てほしい

滑川市有金　水島　一樹さん

僕も昔、修学旅行で「ヒロシマ」に行きました。いつか非核化の世界が来てほしいと思いました。

ハンドマッサージを義父に

富山市長柄町　谷口　隆子さん

五月十日協立病院にて、握力・骨密度・血圧等の測定をしていただき、ありがとうございました。

ハンドマッサージはとてもとても気持ちがよく、入院をしている義父(八九歳)に見様見真似でしてあげたらとても喜んでくれました。

次の行事も楽しみにしております。

バレーボール部に入りました

富山市下冨居　村上　穂歌さん

三月号で当選することができました!!五月号の問題は私でも簡単にわかる内容だったので良かったです。

冬は寒くて食欲のなかった金魚も暖かくなって食欲がわき、たくさんエサも食べるようになってきました。私も中学校生活に段々なれてきました。バレーボール部に入りとても大変ですが、先輩がやさしいので楽しいです。

再利用何より

富山市水橋花ノ井町　慶伊　成子さん

たすけっとクラブ「通信不要になったものも有効活用を」、良かったです。再利用でき、届けた先で喜んでもらうのは何よりですね。

地域フラッシュ

◀6月12日　とよた北支部　さくら班　温泉班会　10名参加

◀6月16日　奥田支部　初夏のレクリエーション　20名参加

◀6月13日　高岡支部　健康のつどい　20名参加

◀6月19日　南ブロック　新運営委員研修交流会　16名参加

夏の高校生医療体験

富山医療生活協同組合では、富山協立病院、富山診療所、水橋診療所で医療体験を行っています。

期間：医師・薬剤師体験 8月1日㈬～8月3日㈮
看護師体験 8月21日㈫～8月24日㈮

※各体験の1日あたりの定員は以下のとおりです。
・医師体験1日5名まで・薬剤師体験1日3名まで
・看護師体験1日6名まで

対象：医師
訪問診療、血圧測定、医師との懇談など
薬剤師
調剤実習、入院服薬指導、在宅指導など
看護師
清拭介助、シーツ交換、病棟看護体験など
※それぞれの職種や日程に応じて体験内容は変わります。

お問い合わせは
富山協立病院 医学生担当
橋本まで ☎076-433-1077

いのちの病院探検隊

夏休みの自由研究に病院の中を探検してみませんか？
参加費は無料、筆記用具や飲み物はご持参下さい。

日時：**7月31日㈫・8月7日㈫** 午後2時～4時
対象：小学校3年生以上 ※保護者の参加も大歓迎！
内容：車イス体験や病院のお仕事見学など

夏休み親子ほけん学校

CO・OPとやま共催

日時：**7月26日㈭** 午後2時～ 4時
対象：小学生以上　※参加費は無料！
内容：おやつ作り、手のばい菌を調べる、ほか

お問い合わせ・お申込みは
富山協立病院 事務長室
☎076−433−1077（担当 土肥まで）

長期事業計画委員会からのお知らせ

富山協立病院の建て替えを
組合員の総意で成功させるために！
「組合員のつどい」(仮称)を開催します

日時：9月1日（土） 13：30 ～ 16：30
場所：富山市内（詳細は8月号にて）

無料法律相談のご案内

春山然浩(のりひろ)弁護士（富山中央法律事務所）
時間は午後 2 時～ 4 時
・8 月16日（木）
・9 月20日（木）
・10月18日（木）
予約してください
場所　富山協立病院地域連携室
◎お申込・地域連携室 ☎076-444-5708

女性のための日曜検診

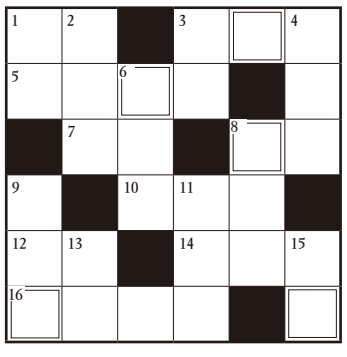
検 診 日：9月2日・10月14日・11月11日・12月2日
受付時間：8：30 ～10：00　　場所：富山協立病院
検診内容：子宮がん検診（定員50名）、乳がん検診（定員25名）
特典 子宮がん検診受診の方には、当日にABI（動脈硬化）測定、もしくは骨密度測定（DXA法）のどちらかをサービスいたします。
お問い合わせ・ご予約は
富山協立病院健康支援センター　☎076-444-5684
※お早目にご予約下さい、定員になり次第締め切らせていただきます

クロスワードパズル

【問題】
カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？

★ **たてのカギ** ★
①難問に手も〇〇も出ない
②男子の対
③〇〇式相場
④意味が対照的な二つ以上の句を並べて表現する技巧
⑥婦人服〇〇〇は2階です
⑧ヒトコブ――
⑨最高気温が25℃以上の日
⑪願い出る。〇〇〇退職
⑬胡蝶〇〇
⑮〇〇揚々と凱旋する

★ **よこのカギ** ★
①〇〇な事をする
③過疎の対
⑤レース終盤で――に出る
⑦〇〇〇滅裂
⑧〇〇〇チン
⑩マウンテン――に乗る
⑫蛙の〇〇に水
⑭絵画の主題
⑯手紙を――に書く



転居先を必ず連絡して下さい。
住所・電話番号の変更や家族の変更がありましたら、生協本部まで連絡下さい。

【応募方法】
パズルの解答・住所・氏名・年齢と、虹のまちの紙面や医療生協へのご意見・ご要望などがありましたら併せて明記の上ハガキ、又は富山医療生協ホームページ（一面右上に記載）の「お問合せ」メールにてご応募下さい。
尚、虹のまちに掲載させて頂く事がありますのでご了承下さい。

【あて先】
〒九三一−八五〇一富山市豊田町一−一−八　富山医療生協「虹のまち」パズル係

【賞品】
正解者の中から十名の方に五百円分の図書カードを贈呈

【しめきり】
七月末日の消印有効

【五月号の解答】
カシワモチ（柏餅）

カ	チ		モ	サ	ク
シ	ン	シ	ツ		ニ
	ジ	ガ		オ	ク
シ		ク	ツ	ウ	
ヨ	ハ		ゴ	イ	シ
ク	チ	ヨ	ウ		ワ

応募 94通
正解 94通

【五月号の当選者10名】敬称略
白野　優（富山市久方町）
東堂　邦子（富山市水橋町）
中村　敏夫（富山市蓮町）
野島　立身（富山市下赤江町）
林　由美子（高岡市高陵町）
日合　周二（富山市犬島新町）
前田　信子（富山市手屋）
水口美智子（富山市水橋辻ケ堂）
山下　栄子（富山市豊丘町）
米田　厚子（富山市富岡町）
おめでとうございます